

第9回あきたかた市民文化祭参加者募集中

あきたかた市民が
日ごろの文化活動の成果を披露！

■舞台芸能の祭典
ダンス・音楽・和太鼓・舞踊など新しい舞台で華やかに最高の演技をしてみませんか？
会場 クリスタルアーヂョ
開催日 平成27年11月29日(日)



■展示芸術の祭典
絵画・書・写真・生け花・工芸などクリスタルアーヂョの大ホールに力作を展示してみませんか？
会場 クリスタルアーヂョ
開催日 平成28年1月24日(日)から1月30日(土)



- 応募資格 安芸高田市内に在住・在勤・在学の方
- 出演料 無料
- 募集分野 民謡民舞・日本舞踊・吟詠詩舞・和太鼓・邦楽・合唱・洋舞・洋楽(音響対応困難のため、バンド演奏は対象外)・芸能(フラダンス・独唱・手品等、幅広く募集します)
- 申込期限 8月25日(火)
- 応募資格 安芸高田市内に在住・在勤・在学の方
- 出展料 無料
- 出展数 おひとり1ジャンルにつき1作品
- 作品サイズ パネル展示作品は額装等を含んだ寸法とし、縦180センチ×横180センチ以内(ただし、書の軸総作品は縦200センチまで可)
- ※作品の搬入出・展示・管理は出品者で行っていただきます。
- ※作品の損傷・紛失について、実行委員会では責任を負いかねますのでご了承ください。

行委員会では責任を負いかねますのでご了承ください。

※主催者はキャプション(題名)のみ作成し、説明文他掲示物は作成しません。

※著作権等の問題は出品者において解決し、問題の発生する作品の出品はお断りします。

○申込期限 11月20日(金)

■共通内容

○申込方法 所定の募集要項兼申込書(各文化センターに配置・市ホームページより入手可能)に必要事項をご記入のうえ、同センターに直接お申し込みください。

○主催 あきたかた市民文化祭実行委員会

○問合せ 実行委員会事務局
(教育委員会生涯学習課文化振興係 ☎42-0054)

美土里町観光協会が名称を「神楽を応援する美土里の会」に変更されました

商工観光課 ☎47-4024

平成元年に設立され、26年の長きにわたり活動されてきた「美土里町観光協会」は、平成27年4月28日の通常総会において、その名称を「神楽を応援する美土里の会」に変更することと決議されました。

美土里町内はもとより、安芸高田市全体の観光振興は「一般社団法人 安芸高田市観光協会」に委ねられます。新名称となった「神楽を応援する美土里の会」では、地域の伝統芸能である神楽の振興に特化した事業を中心に活動する予定とされています。

これからも、美土里町観光協会での活動趣旨を継承し、石川正義(いしかわよしのり)会長をはじめ、役員・会員一丸となって神楽振興に取り組んでいかれます。

(神楽を応援する美土里の会事務局 神楽門前湯治村 ☎54-0888)



市長コラム ワイド版 第83回

10年後を見据えた安芸高田のまちづくり
「第1次総合計画(平成17年〜平成26年)」では「一人輝く・安芸高田」を将来像に掲げ、「住民と行政が奏でる協働のまちづくり」を推進してきました。しかし、人口減少・少子高齢化の進行を止めるには至っておらず、自然災害の脅威による不安意識が高まり、経済規模縮小による地域活力の低下など、社会情勢は大きく変化し続けています。

「第2次総合計画(平成27年〜平成36年)」の策定にあたっては、これらの課題を克服するために、これまで培ってきた市民と手を携える「協働」を更に発展させ、「自助・共助・公助」の支え合いの考え方を重要視しました。さらに、「安芸高田市民憲章」、「第3次安芸高田市政改革大綱」、「新たな「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の方向性や考え方を踏まえ、「市民総ヘルパー構想」による、地域で支え合う福祉のまちづくり、「民間活力の活用」、「多文化共生」の推進などの考えを盛り込んだ、今後10年間のまちづくりの挑戦を示した総合計画を策定しました。

新たな将来像として、「人がつながる田園都市 安芸高田」を唱え、その実現に向けて、「人が集い育つまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」、「地域資源を活かしたまちづくり」の3つの都市像をもって、新たなまち

づくりに挑戦していきたいと思えます。地方都市を中心に全国的に進む人口減と高齢化を、政府も真摯に受け止める対策として「経済財政運営と改革の基本方針」(「日本再興戦略」)が平成25年6月閣議決定されました。その中では、民間の知恵や資金を活用し、身の丈に合った都市構造「コンパクトシティ」が有効であるとされています。「コンパクトシティ」は、土地利用制度との組み合わせによる民間を活用した住居分散や、生活機能の誘導、空き店舗・空き家の活用、公共施設、学校跡地の活用など民間指導による「身の丈に合った再整備」が必要です。つまり「コンパクトシティ」は市民の住居や生活機能をまちの中心地に誘導することです。中心の規模を何処にするかは市民にとって大切なことでありながら、課題は多く慎重に決定すべきと思えます。何れにしても、人口減少による集落の再編は効率的な行政を執行するためには、避けて通れない課題です。拙速な判断は避け、市民の皆様と十分な議論が必要と思えます。

安芸高田市の人口は、平成27年29,676人、10年後(平成36年)26,326人、20年後(平成46年)22,844人と推計しました。「第2次総合計画」では、10年後の目標人口として、今後の安芸高田市の成長を期待し、(平成36年)の人口を27,500人とし、推計値26,326人より、1,200人増としました。大変に厳しい数字ですが、職員一丸となって、少しでも人口減少に歯止めをかけるために、企業誘致、観光開発、農林業等地域資源開発、空き家対策等あらゆる手段を駆使して、雇用促進を促し、目標達成に向かって努力をしていきたいと思っております。



減らそう犯罪 88 水難事故に注意!

夏本番を迎え、川や海に出かけることが多くなる時期です。子どもだけの川遊びは大変危険です。保護者が目を離したすきに、子どもたちは自由に行動して危険な場所に行くことも予想されます。家庭でルールを決めて遊ばせましょう。



浅いから大丈夫は危険!
30cmあれば溺れることもあります。特に幼い子どもの場合は、パニックになると立ち上がることができず溺れることもあります。

もしもの時は?
事故に遭ったときは、慌てることなく、119、110番通報をし、近くにある浮き輪、木、ロープを利用して助けましょう。

安芸高田警察署交通ミニコーナー H27.5末現在
●平成27年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	本年	前年	前年同期比増減数
人身事故	34件	48件	-14人
死者数	1人	0人	+1人
負傷者数	46人	77人	-31人

○管内交通事故の特徴(5月)
・正面衝突(中央線をはみ出し対向車と衝突)

広島県夏の交通安全運動

期間 7月11日〜7月20日までの10日間
広島県スローガン
「思いやり ゆとりは無事故につづく道」

運動重点
・高齢者の交通事故防止(高齢者の交通安全意識の高揚)
・自転車の安全利用の推進
・飲酒運転の根絶(飲酒運転を絶対にしない・させない規範の確立)

☆広島県警では、「年間交通事故死者数90人以下」の達成に向けて「なくそう交通死亡事故・アンダー90作戦」をキャッチフレーズに交通死亡事故抑止に向けた取組を展開しています。
～皆様のご協力をお願いします～